PIGTRONIX

PIGTRONIX /
MGS Mothership

取扱説明書

Ver1.00

コントロール

ジャック：

1.DC48V - 付属の DC48V/520mA センターマイナスのパワーサプライを接続します。
2.OUT - 出力端子。アンプ、ミキサー、DI ボックス等に繋げます。
3.WHAMMY - ピッチベンド用のエクスプレッションペダルを接続します。
4.IN - インプット端子。ギターを入力します。
5.SUB OUT - OCTAVE と RING MODULATOR サーキットの低域用 AUX 出力です。
※低域の周波数に対応できるオーディオシステムに繋げてください。
6.GLIDE REMOTE - GLIDE（ポルタメント）の ON/OFF を TS 端子によるラッチタイプのフットスイッチを使って切り替えます。

フットスイッチ：

1.INTELLIGENT RING MOD - RING MODULATOR ボイスの ON/OFF スイッチ。ON の場合、OUT 端子と SUB OUT 端子どちらにも RING MODULATOR が掛ったサウンドが出力されます。
2.ENGAGE - 本体の ON/OFF スイッチ。ENGAGE ランプのみが点灯している場合、VCO とクリーン信号だけが出力されます。
3.SUB OCTAVE - SUB OCTAVE の ON/OFF スイッチ。ON の場合、OUT 端子と SUB OUT 端子どちらにも SUB OCTAVE が掛ったサウンドが出力されます。

RING MOD ダイアル：

1.RING MOD LEVEL - INTELLIGENT RING MOD の音量コントロール
2.RING MOD TUNE - INTELLIGENT RING MOD のチューニングコントロール

VCO ダイアル：

1.VCO LEVEL - VCO ボイスの音量コントロール
2.VCO TUNE - VCO ボイスのチューニングコントロール
3.VCO FINE TUNE - VCO ボイスのより詳細なチューニングコントロール
※VOC（Voltage-controlled Oscillator）・・・電圧で制御する発振器。アナログ・シンセサウンドを作り出す

トグルスイッチ：

1.VCO WAVE - VCO による波形を選択する。左は三角波、中央は OFF（VCO ミュート）、右は矩形波。
2.RING MOD SOURCE - RING MODULATOR が、インプット信号または VCO 信号のどちらに追随するかを選択する。
RING MOD SOURCE によって、RING MODULATOR のトーンと WHAMMY や GLIDE のレスポンスが変わる。INPUT の場合は RING MOD のハーモニーは VCO ボイスに対して対位法的に動く。VCO の場合は RING MOD のハーモニーは VCO ボイスに対して平行的に動く。
3.GLIDE - ポルタメント（滑らかに音程を変化させる）の ON/OFF スイッチ。

グローバルコントロール：

1.WHAMMY RANGE - エクスプレッションペダルの PITCH BEND のレンジを設定します。

※エクスプレッションペダルを後ろ側へ踏むと VCO と RING MODULATOR のピッチが下がります。
エクスプレッションペダルを前側に踏んで VCO と RING MOD の設定を行います。
設定が終わったら、エクスプレッションペダルを後ろ側へ戻し、WHAMMY RANGE ダイアルで PITCH BEND の範囲を設定します。

1. GLIDE - ポルタメントエフェクトの長さを設定する。
2. CLEAN SIGNAL LEVEL - クリーン信号のボリュームを設定する。
3. SUB OCTAVE LEVEL - SUB OCTAVE 信号のボリュームを設定する。
4. MASTER VOLUME - MOTHERSHIP 全体のボリュームを設定する。

基本接続

1.箱から出して平らな場所に置きます。
2.本体に付属しているパワーサプライが準備されているかを確認してください。
3.パワーサプライを本体裏にある DC48V ジャックに差し込み、アダプターをコンセントに差し込みます。電源を切る場合は、アダプターをコンセントから抜きます。
4.ギターをインプットジャックに繋げ、アウトからアンプ等の機材に接続します。

ご使用ガイド

VCO

1.すべてのコントロールを左いっぱい、トグルスイッチを右にしてください。すべての LED が消えているのを確認してください。本体はバイパスモードの状態です。楽器を弾いて、クリーン・サウンドであることを確認しましょう。

2.MASTER VOLUME、CLEAN SIGNAL LEVEL と VCO LEVEL を 12 時ポジションにします。ENGAGE フットスイッチを踏むと青い LED が点灯します。

3.ギターを弾き、VCO TUNE と VCO FINE TUNE コントロールでクリーン信号とマッチするよう調整します。

4.VCO つまみのレンジを確認します。VCO は上下 2 オクターブでの調整が可能です。VCO TUNE で大まかなチューニングを、VCO FINE TUNE で細かなチューニングを行います。最も高いレンジにする場合、VCO TUNE を右いっぱいに、VCO FINE TUNE でインプット信号の 2 オクターブ上の細かい調整を行います。

5.VCO TUNE で VCO ボイスをクリーン信号より 1 オクターブ上に設定し、VCO ウェイブトグルスイッチを左にし、トライアングルウェイブの音を確認してください。よりスムーズなサウンドでハーモニックの少ないホーンのようなサウンドです。

6.VCO をインプット信号に合わせて調整します。CLEAN SIGNAL LEVEL を左いっぱいに設定し、VCO のみの音を確認してみましょう。

7.GLIDE を 11 時のポジションにし、ポルタメントエフェクトを確認します。GLIDE コントロールを動かしエフェクトの効きを確認、GLIDE トグルスイッチを左にして GLIDE エフェクトを OFF にします。

SUB OCTAVE

8.SUB OCTAVE LEVEL を 12 時のポジションにし、SUB OCTAVE フットスイッチを ON にします。赤い LED が点灯します。ギターを弾いて音を確認しましょう。

RING MODULATOR

9.SUB OCTAVE フットスイッチを OFF にして、VCO WAVE スイッチを OFF にします。RING MOD LEVEL を 12 時ポジションにします。

10.INTELLIGENT RING MODULATOR フットスイッチを ON にすると緑色の LED が点灯します。

11.ひとつの音節を繰り返して弾きながら、RING MOD TUNE の設定を変化させ、サウンドの変化を確認します。

12.RING MOD サウンドを決めギターを弾きます。他の一般的な RING MODULATOR と違い、音程の間隔が変わりません。これは、プレイされているサウンドのピッチに追随しているためです。

13.GLIDE トグルスイッチを OFF にして、RING MOD SOURCE トグルスイッチを VCO に設定し、VCO ウェイブを矩形波にします。

14. RING MODULATOR は VCO を追随しているため、トーンが変わります。RING MODULATOR の音は VCO のピッチと平行に変わります。

15.VCO LEVEL ダイアルを小さくすると RING MODULATOR のみの音が確認できます。

16.VCO ウェイブを三角波に設定すると RING MODULATOR のもう一つの面白いサウンドが確認できます。ギターを弾いて試してみてから、VCO LEVEL をまた上げます。

17.RING MOD SOURCE トグルスイッチを INPUT に戻し、ギターを弾きます。RING MODULATOR は VCO のピッチと対位法的に変わります。

18.CLEAN SIGNAL LEVEL を上げ、RING MODULATOR の VCO サウンドとインプット信号のサウンドのミックスを確認します。SUB OCTAVE を ON にするとすべてのミックスを確認できます。

WHAMMY

19.INTELLIGENT RING MODULATOR と SUB OCTAVE フットスイッチを OFF にします。

20.エクスプレッションペダルを WHAMMY 端子に繋げます。

21.前方いっぱいまで踏み、VCO の設定を CLEAN SIGNAL LEVEL と同じにします。

22.後ろいっぱいまでペダルを戻し、WHAMMY RANGE ダイアルで VCO のピッチを CLEAN SIGNAL LEVEL より 1 オクターブ低くします。

23.ギターを弾きながらペダルでピッチの確認をします。

※WHAMMY の設定はエクスプレッションペダルを前方に踏み込んだ状態で行います。変化する音域を設定する際にはペダルを後ろ側に戻します。

24.ペダルを前方いっぱいまで踏み、INTELLIGENT RING MODULATOR フットスイッチを ON にします。RING MOD SOURCE が INPUT になっていることを確認し、RING MODULATOR チューニングを INPUT と一緒にします。

25.ギターを弾きながら、RING MODULATOR と VCO のピッチを試してください。VCO と RING MODULATOR の PITCH BEND が反対方向に変わることが確認できます。

26.RING MOD SOURCE を VCO に設定し、同様にギターを弾くと PITCH BEND は VCO と同じ方向に変わります。

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より１年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。